



北村 あや子 区政ニュース

低所得世帯向けエアコン助成実施へ 5月7日から

区は今年度、低所得世帯へエアコン購入費の助成を実施します。最大10万円。

65歳以上の方や障害のある方は、都の「ゼロエミポイント」を併用するとその場で8万円値引きとなり、本体価格15.8万円までは自己負担なしで購入可能です。その他の方も「ゼロエミ」併用で、新規購入は1万円、買い替えは9,000円～7万円値引きされます。購入の際は、各店のスタッフにご相談ください。

低所得世帯へのエアコン購入・設置費用の助成

対象：自宅にエアコンが無いか故障中の ○住民税非課税世帯 ○住民税均等割りのみ世帯
○児童扶養手当受給世帯 ○生活保護受給世帯

助成額：エアコンの購入・設置工事等の費用 最大10万円(本体購入は7.8万円)

申請：生活保護受給世帯は4月8日(水)から、その他の世帯は5月7日(木)から
各要件などを店舗でよく確認してください 設置後に申請となります



生活保護世帯以外は購入に以下の要件があります

対象機種：都の「ゼロエミポイント」の対象と同機種(多段階評価が★2つ以上)

購入：区内の「ゼロエミポイント」取扱い店舗

生活保護世帯は購入機種や店舗に条件はありませんが、その他の世帯は都の「ゼロエミポイント」対象機種を、区内の取扱い店舗で購入することが必要です。取扱店舗は区内42件、西尾久地域は6件です。

詳細は今後、ホームページや5/21付区報でお知らせ。申請の受付開始は5月7日(木)からで、それ以前に購入すると助成対象外になります、お気をつけください。

西尾久地域の東京ゼロエミポイント登録販売店

有限会社益子商店	西尾久1-2-6
アパックス尾久	西尾久2-34-7
株式会社今井	西尾久2-35-7
アパックス西尾久	西尾久4-2-10
志幸技研工業株式会社	西尾久5-7-12
有限会社 小幡商店	西尾久6-17-14

2018～19年には荒川区「独自」のエアコン助成もありました

高齢者や未就学児のいる世帯などを対象に区独自のエアコン購入費用助成を実施していました。2年間で300世帯以上に助成しましたが「当初の目的は達成した」と助成を終了。その後、省エネエアコン助成を開始しましたが、省エネタイプは高価で「買いたくても買えない」との声が少なくありませんでした。

22年以降、熱中症による搬送者や亡くなる方が急増。23区で独自に助成を行う区がふえ、都も「ゼロエミポイント」拡充や間接的な電気代支援などを実施。共産党区議団は、経済的弱者が命を脅かされることはあってはならないと、生活保護世帯をふくめ低所得世帯などへの荒川区の支援実施を繰り返し要望してきました。

区は「実施の予定はない」としてきましたが、都が今年度から「エアコン助成を行う自治体に対し費用の3/4を支援する」と表明したことを受け、やっと5月から助成に踏み切ります。

発行：日本共産党議員団 TEL:3802-4627 FAX:3806-9246 e-mail:arajcp@tcn-catv.ne.jp

<北村あや子事務所>

荒川区西尾久2-4-8-1階

TEL&FAX:3894-6668



プラスチック資源回収された後は…

各家庭から出されるプラスチックごみ、以前は「燃やすごみ」として出していましたが、昨年10月からは全区で回収して、資源として再利用。気候変動を食い止めるため CO2 排出削減、ごみ減量で最終処分場の延命化…などの目的があります。

回収後はどうなるの？日本共産党区議団は回収プラの中間処理施設と再商品化施設を視察しました。

◆燃やすごみの処理ルート



◆プラスチックの処理ルート



中間処理施設

足立区入谷にある中間処理

施設では回収されたプラスチックをまずは機械で大まかに分類、容器包装プラスチックと製品プラスチック、残渣といわれる資源として利用できないものに分け、その後人の手で細かく分けます（左画像）。1日約3.5トン（容器包装プラ 2,800 kg、製品プラ 500 kg、残渣 200 kg）が施設で分類されています。その後種類ごとにパレット状にまとめて再商品化施設へ送られます。中間処

理施設の課長さんは「荒川区のプラは良く分別されています。」とお話しされていました。区民の皆さんのご協力で、分別する作業員さんたちも助かるそうです。

再商品化施設

千葉県富津市にある施設では、搬入されたプラスチックを単一素材（ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリスチレン）に高精度に選別して再生原料の製造、物流パレットの製造を行い、マテリアルリサイクルをしています。高磁力選別機や赤外線選別機などで、分類はほぼ機械化。容器包装プラスチックは洗浄が必要なためコストがかかるうえ、再商品化できない残渣が45～50%ほど出るそうです。その残渣は製鉄所などの燃料として「サーマル/ケミカルリサイクル」へ回すとのことでした。一方、製品プラスチックのリサイクル率は90～99%で、残渣は少量です。ただし、自治体にお金が入るのは容器包装プラスチックのみ…。

この施設では物流用パレット製品を主に作ります。さらに、地域で資源循環が見えるようにと身近な製品開発にも取り組んでいるとのこと。再生プラスチックを利用した荒川区用「万年カレンダー」（右画像）も、まずは啓発品として用意されていました。



拡大生産者責任も、そもそもプラ製品を極力減らすことも必要です。ただ、プラ製品はとても便利です。せめて資源回収に努めて、環境にやさしい荒川区を前に進めていきたいと感じました。

街の声



*電柱の根元に穴が開いていて危ない！倒れるのではないかと心配です。

➡現地を確認しました。区の担当部署を通じ電柱の管理者に通報、修繕を求めています。危険な箇所をご指摘いただき、ありがとうございました！

*学校施設建て替え計画案に関する保護者説明会が「尾久宮前小学校」で4月27日月曜日夜7時から行われると聞いた。子どもはいないが、近隣住民も参加したい。

➡教育施設課に要望を伝えました。保護者でなくても近隣の方の参加は OK とのことです。近隣の方々も建て替え計画を知りたいというのは当然のことです。学校近くにお住まいの方には説明会が行われることを周知することも求めました。



日時：**5月15日**(金) 18:30～20:00

会場：**北村あや子事務所**

荒川区西尾久2-4-8 1階 TEL&FAX:03-3894-6668 要予約

相続のこと、職場のこと…弁護士と北村がお話を伺います。生活相談はいつでもお気軽に！